

陳 情 文 書 表

30陳情第 5 号

「市歌」の制定にあたって、特定政治勢力の推薦人を作詞・作曲者に起用しないことを求める

陳情書

趣 旨 (別紙のとおり)

平成 年 2月22日  
(西暦2018 )

陳 情 代 表 者	住 所	東京都小金井市東町5-15-7
	氏 名	市民団体「こがねい情報公開市民会議」 事務局長 高木 章成 <span style="float: right;">ほか 人</span>  (法人の場合は、その名称及び代表者の氏名) (本人署名以外は、押印が必要となります。)
	連 絡 先	( <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )

発言を申し出ます。

発 言 者	住 所	
	氏 名	申し出ません。
	連 絡 先	( ) -

(あて先) 小金井市議会議長

第1ガイド 請願・陳情			第2ガイド 陳情		保 存 年 限 5 年		
受 理 年 月 日			平 成 30 年 2 月 22 日 11:00				
受 付	担 当	主 任	係 長	次 長 補 佐	次 長	局 長	<del>議 長</del>
				/			

小金井市議会議長 様

2018(平成30)年2月22日  
小金井市東町5-15-7  
市民団体「こがねい情報公開市民会議」  
事務局長 高木章成

## 「市歌」の制定にあたって、特定政治勢力の推薦人を作詞・ 作曲者に起用しないことを求める陳情書

議員各位の市政発展に向けましての日頃のご奮闘に心より感謝申し上げます。

憲法第16条、請願法及び小金井市議会会議規則に則り、次の事項について陳情申し上げます。充実したご審議の後、ご採択賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成29年第4回定例議会において、西岡市長は、市歌の制定を行うための補正予算を提出、市議会では異論も数多く出ましたが、最終的にこれを賛成多数で可決しました。

この陳情書は、市歌の制定の是非に関するものではなく、補正予算が可決されたことを踏まえて、また、実際に市歌制定に向けた事務が開始されたことを踏まえての陳情です。

市歌と銘打って制定する以上、制定が特定政治勢力を助長するような効果を発揮することは不適切極まりありません。したがって、特定政治勢力の推薦人になっているような人は作詞者、作曲者にすべきではありません。特に市政の選挙で推薦人になっているような人は絶対に避けるべきです。

もしそのような者に作詞や作曲を公費で依頼するとなれば、当該推薦人の知名度や名声を高め、結果、特定政治勢力の助長を招きます。

そんな歪んだ形で市歌を制定して、「どうぞ皆さん歌ってください」では、まったく理解に苦しみます。というよりも「みんなで歌わない運動」が広がるのではないのでしょうか？

そこで以下の点について、解明を求めます。

### 【陳情事項】

市歌の制定にあたって、特定政治勢力の推薦人を作詞者や作曲者にすることは絶対に避けてください。

以上

陳 情 文 書 表

30 陳情第 10 号

市歌は市民の手で創ろう!
陳情書

趣 旨 (別紙のとおり)

平成 年 2月22日  
(西暦2018)

陳情代表者	住 所	小金井市東町 2-27-33
	氏 名	齋藤西夫 印  ほか 人 <small>(法人の場合は、その名称及び代表者の氏名) (本人署名以外は、押印が必要となります。)</small>
	連 絡 先	(  )

発言を申し出ます。

発言者	住 所	
	氏 名	
	連 絡 先	( ) -

(宛先) 小金井市議会議長

第1ガイド 請願・陳情		第2ガイド 陳情		保 存 年 限 5 年		
受 理 年 月 日		平成 30 年 2 月 22 日 13:15				
受 付	担 当	主 任	係 長	次 長	局 長	<del>議 長</del>

市歌は市民の手で創ろう！

陳情書

報道によると、入金井市市制施行60周年  
を記念して「市の歌」を制定するといふ。こ  
れまでながく「市歌」が不認識なほど、市歌制定  
は真にすばらしい話である。大いに期待する  
ところである。

収集した情報によれば、作詞・作曲は専ら  
歌人依頼、一部は独唱・合唱、吹奏楽など多  
種類で行くことか。その費用は二回百三十  
万円余といふ。市歌行成は、凡そ巨額を要し  
ては、市民の知り驚愕する市民も多しといふ

Yuhosaitoh 用紙

なからうか。心ある市民は行方を見守る。  
専ら歌人依頼するとは、あまりに極端な  
ことであるまいか。作詞も作曲も皆市民の方  
けより一列市民の方から募るの  
方が、いかにもよかたうか。市民より、  
「市歌」に成る方々、必ず市民にも愛され  
るはずである。他市にもいい例がある。

福祉大蔵省の予算を切り詰める方々、之類  
な？市歌を創つて、市民の市制60周年を  
祝う教加並に成(まう)ことには必ずにかかいた

Yuhosaitoh 用紙

1

No.

2

No.



狛江市の歌

水と緑のまち

加藤 弘 作詞  
山根 京子 作曲

一、

丹沢の峰 青くかすみ  
富士の山 はるかに光る  
川の流れ 豊かに  
わが生命 風に歌う  
ああ たたえよ  
母なる 多摩川  
水と緑の わが狛江

三、

陽ざしに映える 銀杏の木立  
古きより いずみ湧く里  
石の鳥居 ひそかに  
わがこころ 森に憩う  
ああ たたえよ  
あふれる 自然を  
水と緑の わが狛江

二、

はるかな昔 若き少女  
布さらす 多摩の岸辺に  
万葉のうた しのべば  
わが思い 雲に遊ぶ  
ああ たたえよ  
ゆかしき ふるさと  
水と緑の わが狛江

(コーダ)

あたたかく ふれあうまち  
明日を拓く 文化のまち  
ともに求め つくろう  
ああ われらが狛江